

「貧居生シ傑士ヲ 勲業顕
ワル多難ニ 耐エテ雪ニ梅花
麗シク 経テ霜ヲ楓葉丹シ」

新年明けましておめでとう
ございます。皆様方におかれ
ましては、お変わりなくご壮
健のことと存じます。
日頃のご支援、ご協力に感
謝申し上げます。
しかし、今年は例年と異な
り、家族・親戚が一同に集ま
り、楽しく新春を祝うことが
出来ず、寂しい思いをしてい
る人もいるかもしれません。
人の動きに自粛が求められた
ために、経済的に大変な思い
をしている人もいるかもしれ
ません。

新年明けましておめでとう
ございます。皆様方におかれ
ましては、お変わりなくご壮
健のことと存じます。
日頃のご支援、ご協力に感
謝申し上げます。
しかし、今年は例年と異な
り、家族・親戚が一同に集ま
り、楽しく新春を祝うことが
出来ず、寂しい思いをしてい
る人もいるかもしれません。
人の動きに自粛が求められた
ために、経済的に大変な思い
をしている人もいるかもしれ
ません。



町会連合会長
西牧 健史

新年のご挨拶



新村の人口・世帯数	
令和3年1月1日現在	
世帯数	1,317 戸
男女	1,537 人
合計	1,662 人
合計	3,199 人



南新中の青木秀行さんの「上高地洋蘭」のハウスでは、クリスマス、お正月用に1万鉢のシンビジウムが出荷された。

という西郷南洲（隆盛）の漢詩があります。「貧しい生活からすぐれた人が育ち、輝かしい仕事は困難の多い中からこそ生まれる。雪に耐えて梅の花は美しくなり、霜を経てこそみじは赤いきれいな色になる」と言っています。
今年はコロナ感染が収まり、明るい日常が戻るはずですが、今年もどうかよろしくお願ひします。



童画館スタッフの説明に耳を傾ける

でもどこか
懐かしく、
優しさや
ユーモアに
深く感じ
入るものが
ありました。
イルフと
は「古い」
を逆さまに
読んだ「新
しい」を意

12月15日(火) 参加者17名
で諏訪地方の二つの美術館で
の研修を行ってきました。最
初に訪れたのは岡谷市のイル
フ童画館です。同市出身の童
画家、武井武雄の作品が展示
されています。武井は大正、
昭和、「コードモノクニ」や「キ
ンダーブック」といった児童向
け雑誌の挿し絵を手掛け、子
どものための芸術・童画とい
うジャンルを初めて提唱し、
新たな子ども文化を創出して
きました。子ども時代は一過性
の娯楽ではなく、魂に触れる
ような希望に満ちたものが必
要で、武井の作品には大人が見
てもどこか

ものぐさ大学 美術館めぐり

味した武井の造語だというこ
とで、作品から溢れる新鮮な
感動を堪能できました。
続いて訪れたのは諏訪市の
原田泰治美術館です。原田泰
治先生は「ふるさと」をテー
マに全国を取材され、心癒さ
れる懐かしい風景作品を数多
く制作されました。全国公募
のキルト展も開催中で、たい
へん緻密で一針一針丁寧に縫
い上げられた作品は本当に圧
巻でした。原田さんは「日本
から失われようとしているも
のばかりを描いてきた」と語っ
ておられました。改めてふる
さととの風景の大切さに心を寄
せる大切な機会となりました。



原田泰治先生との記念撮影

は今年に限った話ではない。毎
年9時前には雪かきが済んで
いる▼今年度は松大生として
最後の1年であった。経験
したことのないような1年
であったが、その中でも多
様な活動を通じて新村の人
たちと交流を重ねることが
できた。だが、直接触れ合
うことのできない寂しさは
尽きなかった。後期は対面
授業が始まるも、活動の制
限はあり、不完全燃焼であっ
た▼そんな時でも雪かきを
してくれる人がいるのであ
る。新村の人なのか、大学職
員さんなのか、学生なのかは
分からない。そのような光景
を目の当たりにし、私は松本
大学を選んで本当によかった
という想いに駆られるのであ
る▼学生と地域がお互いに助
け合うというこの素晴らし
さを学んだ学生生活であっ
た。大学卒業後も新村を故郷
として訪れたい。

八束穂

ある冬の日、雪
がたくさん積
もった。松本駅
から新村地区に
自転車で行かう
と、既に大学周
辺は雪かきがな
されている。これ

生きるを考える

11月20日(金)新村地区人権啓発視察研修が17名の参加者で行われた。

三郷地区の貞享義民記念館を訪ね、館内のシアターで多田加助の貞享騒動のあらましを鑑賞。続いて中村館長より農民を苦しめた年貢の取立ての実態、松本藩の農民を蔑ろにする藩政など教えていただいた。「行動には根拠ある証拠説明が必要」と締めくくられた。

午後は、和田地区の窪田空穂記念館に移動。勝野館長に空穂の生涯と「獄窓の歌人」島秋人の生い立ちと犯行に至る経緯、短歌との出会い、秋人を支えた人脈などお話しいただいた。

最近ではネットによる誹謗中傷、性的マイノリティ、コロナ禍による差別など、新しい人権問題が噴出している。

過去から学ぶことも大切だが、複雑になった現代をどう生きるか、突き付けられているようだ。



空穂の生家でお話を聴く

シリーズ

私たちの先生

松本大学大学院
健康科学研究所
人間健康学部
スポーツ健康学科
学科長・教授
根本賢一先生



新村地区の皆さん、こんにちは。以前に、効果的な運動法についてお話しさせていただきましたが、その後は何かさられていますか？健康づくりのために運動をはじめようと決意しても、何をどうした

ら良いのか分からない方もいらっしゃると思います。基本的には、ウォーキングでも水泳でもテニスでも自分の好みのものでOKです。ただ、いきなり運動の強度を上げすぎると体には良くないので、最初は無理をせずに疲れない程度に始めて下さい。私たちの生活は忙しい日々の連続です。仮に、「週に4日運動するぞ！」と決めても、急用ができたり、仕事が長引いたり、と思うようにいかないのも現実です。運動の効果は、運動量の

合計が同じであれば、その効果も同じように得ることができます。週に3日しか運動ができなかったら、1回分はできなかった分を加えて行えば、週に4日行っただのと同じ効果を得ることができます。運動を長く継続していくには、あまり神経質にならずに、いい意味で適当に考えることが大切です。



牛の歩みも千里



「もう」
コロナは退散してヨ～



12月14日(月)・18日(金)新村公民館で「押し絵教室」が開催されました。

押し絵は絵を部分ごとにカットして、綿などで立体感を出し、仕上げる日本の伝統的な手芸です。参加者は思い思いに、今年の干支「丑」を模った作品にしました。

華やかなお正月を

12月25日(金)新村公民館で「お正月生け花教室」が開催され、17名が参加されました。講師から指導を受け、花を活けました。ある参加者は「コロナで大変な一年だったが、少しでも気持ちよくお正月を迎えたい」と話していました。



新春を飾る

大人の塗り絵

福祉ひろばでは、月に1回、塗り絵に楽しく自由に取り組んでいます。たくさんの方のキレイな色に触れると気持ちもリフレッシュできます。

「ここはどんな風に塗ろうか」と色々考えたり工夫しながら進めることで、脳にも心地よい刺激がもたらされ、気分もリフレッシュできます。



上達しました!!

コロナ禍の授業

松本大学は、「オンライン授業では難しい学修を是非とも実体験して欲しい」という思いなどから、9月末から始まった後期の講義を「原則対面」で行いました。ですが、感染予防のためにオンライン受講を希望する学生のために、対面授業をそのまま配信しました。他にも、図書館などの設備利用や課外活動についても、警戒レベルに合わせた制限をかけたことも、以前のように行うことができました。また、授業は座席指定にしたり、検温を徹底して行うなど、大学が「丸」となって感染予防のために動いた結果、長きにわたり松本大学からは感染者を出しませんでした。

あの頃の新村!!

11月16日(月)「懐かしの映像で振り返る」視聴会が開催されました。平成11年に太鼓門復元記念まつり(新村の日)に熱演した「ものぐさ太郎物語」と、平成16年7月に開催された「第1回新村音楽祭」を視聴。どれも大いに楽しみなが、熱気溢れるような映像。当時を懐かしみました。

公民館では新村を写した8ミリフィルム映像、昔の写真を募集しています。ご提供をよろしくお願ひします。



活気に満ちた新村を懐かしむ